

(トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/> )

(MENAランキングシリーズ: <http://mylibrary.maeda1.jp/MENAranking.html> )

マイライブラリー:0411

(注)本稿は 2017 年 5 月 21 日から 6 月 1 日までの 7 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

## 高い価格競争力:MENA(中東・北アフリカ)の旅行・観光産業競争力指数(2017年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その16)

2017.6.5

前田 高行

目次	頁
1. 「Travel and Tourism Competitiveness Index」について	2
2. 2017年度の国別指数とランク	2
3. 分野別のランク	3
4. MENA 主要6カ国及びスイス、日本、米国の項目別比較(レーダーチャート)	6
5. 2009年～2017年(過去5回)の世界順位の比較	8

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 カ国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第16回のランキングは、「世界経済フォーラム(World Economic Forum, 略称 WEF)」が公表した

「The Travel and Tourism Competitiveness Index(TTCI) 2017」について MENA 諸国をとりあげて比較しました。

\* TTCI のホームページ:

<https://www.weforum.org/reports/the-travel-tourism-competitiveness-report-2017>

## **1. 「Travel and Tourism Competitiveness Index」について**

「Travel and Tourism Competitiveness Index」(旅行・観光産業競争力指数、以下 TTCI)は、スイスで開催される「ダボス会議」の主催者として世界に名を知られている「世界経済フォーラム(World Economic Forum, 略称 WEF)」が作成したものである。

2017年度レポートでランク付けの対象となった国・地域のは数は136であるが、そのうち MENA は16カ国である。ちなみに今回ランク付けの対象とならなかったのは、シリア、リビア、イラク及びパレスチナ自治政府の3カ国1機関であり、前回(2015年度)に比べると全世界の対象国の数は2か国減っているが、MENA の対象国は前回通りである。

TTCI はPillarと呼ばれる下記の14項目を評価対象としている。項目ごとに7点満点とする各国毎の点数をつけ、それらを総合した指数が各国のランクとなっている。

- (1) Business Environment(ビジネス環境)
- (2) Safety & security(安全・治安)
- (3) Health & Hygiene(健康・衛生)
- (4) Human Resource & Labour Market(人材・労働市場)
- (5) ICT Readiness(情報通信インフラ)
- (6) Prioritization of Travel & Tourism(旅行・観光業の優先度)
- (7) International Openness(市場開放度)
- (8) Price Competitiveness(価格競争力)
- (9) Environmental Sustainability(環境保全能力)
- (10) Air Transport Infrastructure(航空路インフラ)
- (11) Ground & Port Infrastructure(陸上・港湾インフラ)
- (12) Tourist Service Infrastructure(旅行者サービス度)
- (13) Natural Resources(自然資産)
- (14) Cultural Resource & Business Travel(文化資産・ビジネス旅行)

(UAE が世界総合29位で MENA トップ)

## **2. 2017年度の国別指数とランク (末尾表 16-T01 参照)**

ランク付けされている MENA 16カ国の中で TTCI(競争力指数)が最も高いのは UAE であり、世界ランクは29位である。この他世界ランク50位以内にはいっているのはトルコ(世界44位)及びカタール(同47位)である。MENA 4位以下8位まではバハレーン(世界60位)、イスラエル(同61位)、サウジアラビア(同63位)、モロッコ(同65位)、オマーン(同66位)の5か国が世界60位台にひしめい

ており、これら MENA 上位8カ国が世界136か国中の上位グループである。

この中でサウジアラビアは名の通った歴史遺産や自然遺産は少ないが、イスラム教の聖地メッカ（マッカ）とマディナがあり、世界中から毎年数百万人のイスラム教徒が巡礼に訪れる。「巡礼」を観光とみなすか否かには異論もあるが、日本でも「お伊勢参り」が信仰を兼ねた観光旅行として江戸時代から盛んに行なわれてきたことを考えると、立派な観光資源と考えることができる。さらにサウジアラビアは2030年までの長期国家目標ビジョン2030を掲げ、その中で観光産業を経済成長の重要な柱としており、マッカ、マディナへの巡礼だけでなく、リヤドにテーマパークを開設するなど新しいタイプの観光産業に力を入れている。

オマーンに次ぐ MENA9位はエジプト（世界74位）である。同国の観光産業はスエズ運河通航料、海外出稼ぎ者の送金と並ぶ国家歳入の三本柱の一つであり、世界中から観光客が訪れるが、アラブの春の後イスラム政権が誕生、そのわずか1年後にクーデタで軍事政権に復帰する過程でテロが頻発し経済が停滞、観光競争力が大きく落ち込んだ。最近国内はようやく落ち着きを取り戻したが、競争力指数、世界ランクともに低迷状況が続いている。

イランもエジプト同様多くの観光資産を保有している。世界順位は93位と MENA 諸国の中でも低位に甘んじているが、欧米諸国の経済制裁解除により今後の観光産業の復活が期待されている。クウェイト、アルジェリア、イエメンの3カ国はいずれも世界100位以下である。

因みに TTCI 世界ランク1位はスペインであり、日本は4位、米国は6位である。また中国の世界ランクは15位であり MENA のいずれの国よりも順位が高い。

### **3. 分野別のランク**（末尾表 16-T03 参照）

冒頭に述べたように総合ランクは14項目の評価ポイントにより決められている。ランク付けされている MENA16カ国について、これら14項目毎の順位を見ると以下の通りである。

#### (1)Business Environment (ビジネス環境)

この項目では UAE 及びカタールがそれぞれ世界136か国中の5位と6位を占めている。さらにバハレーン（世界12位）、サウジアラビア（同26位）、オマーン（同28位）も世界の上位にあり、これら GCC5か国はビジネス環境に対する評価が高い。5か国に続くのがイスラエル、ヨルダン、モロッコが世界50位以内に入っている。MENA16カ国の中でアルジェリアおよびイエメンは100位以下であるが、MENA の平均世界順位は55位であり世界136か国の平均を上回っている。

（日本20位、米国16位、中国92位）

#### (2)Safety & Security (安全・治安)

トップの UAE は世界2位でオマーンは世界4位、カタール10位とGCC3か国が世界のトップテンにランクされている。MENAの旅行および観光はとかく安全・治安に問題があるとみられているが、これら湾岸の君主制国家は評価が非常に高い。本項目の日本のランクが世界26位であることと比

べれば3か国のランクの高さは瞠目に価する。但し、総合順位ではこれら3か国は米国、日本あるいは中国よりも低い(前項参照)。3か国はビジネス環境あるいは安全・治安では世界のトップクラスであるが、後述するようにその他の項目で米国、日本等に大きく後れを取っているのである。

オマーンに続くのはモロッコ(世界20位)、ヨルダン(同38位)、クウェイト(同43位)、バハレーン(同47位)の各国である。これに対してトルコ、レバノン、エジプト及びイエメンは110~130位台であり安全・治安面ではレベルが低い。MENAの平均順位は69位。

(日本26位、米国84位、中国95位)

### (3)Health & Hygiene (衛生)

この項目のMENA各国の世界順位はおしなべて低くトップのイスラエルが世界39位であり、カタール(世界46位)、レバノン(世界47位)と続くが、世界50位以内はこの3か国だけである。主要な観光国であるトルコ、エジプト、オマーンは60位台であり、イランが93位などいずれも衛生面の評価が高くない。

(日本17位、米国56位、中国67位)

### (4)Human Resources & Labor Market (人材・労働市場)

旅行・観光の人材・労働市場の面で最も高い評価を受けたのはイスラエル(世界21位)である。このほか世界50位以内はUAE(同23位)およびカタール(同26位)の3か国のみである。トルコは世界136か国中の94位にとどまり、エジプト、イラン両国はいずれも100位以下である。MENA諸国は観光産業の人材が十分ではないと言えよう。

(日本20位、米国13位、中国25位)

### (5)ICT Readiness (情報インフラ)

MENA 諸国の中で旅行・観光産業関連の情報インフラが進んでいるのはUAE(世界15位)、バハレーン(同16位)であり、20位台にカタールおよびサウジアラビア、30位台にクウェイト及びイスラエルが並んでいる。情報インフラのような大きな初期投資が必要なものは財政が豊かな湾岸産油国が有利であり、トルコ(世界72位)、エジプト(同89位)、イラン(同94位)各国よりもかなりランクが高い。

(日本10位、米国19位、中国64位)

### (6) Prioritization of Travel & Tourism(旅行・観光業の優先度)

MENA 諸国の中で国策として旅行・観光業に高い優先度を置いているのはトップがヨルダン(世界22位)であり、これに続いて UAE(同31位)、レバノン(同33位)、モロッコ(同35位)、エジプト(37位)が世界30位台である。このうち UAE を除く4か国とも豊かな自然・文化遺産を有している一方、天然資源が乏しく、有力な製造業がない。また生活が必ずしも豊かでなく失業率も高いため外国人観光客の誘致が重要な政策の柱となっている。これに対してイラン(世界117位)、クウェイト(同125位)、アルジェリア(同131位)などは観光振興に対する当局の取り組みが弱いようである。

(日本18位、米国20位、中国50位)

#### (7) International Openness(国際市場への開放度)

この項目で MENA の1位、2位はトルコとヨルダンでありそれぞれの世界順位はトルコが50位、ヨルダンは63位である。これは世界136か国の中でも中のやや上という水準である。これに続く UAE(世界75位)は世界の低位グループであり、MENA の半数以上の国は100位以下である。因みにエジプトは102位、イランは109位である。またアルジェリア、サウジアラビア、イエメンの各国は130位台で世界最下位グループに位置づけられており、MENA の平均順位は世界101位にとどまっている。MENA のほとんどはイスラム国家であり一部の国は宗教的な制約が厳しい。また工業が未発達で旅行・観光業のようなサービス産業には中小企業が多く、国内中小企業を保護する政策が根底にあることが国際市場に対する開放を阻害しているものと考えられる。

(日本10位、米国38位、中国72位)

#### (8) Price competitiveness in T&T industry (価格競争力)

中東・北アフリカ諸国では UAE、サウジアラビアなどの豊かな湾岸産油国に限らず、エジプト、イエメンなど貧しい国でも食料品、ガソリン代などの生活必需品あるいはバス、鉄道等の公共交通費には多額の政府助成金が注がれており物価が極めて安い。そのような一般的状況が本項目に反映しているものと思われ、この項目は総合順位とは対照的な様相を示している。即ち国別ではイランが世界1位であり、エジプト(同2位)、アルジェリア(同4位)、イエメン(同7位)、チュニジア(同9位)と世界のベストテンに5か国が入っている。各国の総合順位はイラン93位、エジプト74位、アルジェリア118位、イエメン136位、チュニジア87位である(上記1参照)。これらの国々は旅行・観光業の優越性が価格競争力の優位性で保たれているといっても過言ではないと言えよう。

一方先進国は物価の高さが災いして価格競争力の点で世界に大きく後れを取っており、日本は世界94位、米国は106位である。総合競争力世界1位のスペインもこの項目の世界順位は98位と極めて低い。

(日本94位、米国106位、中国38位)

#### (9) Environmental Sustainability(環境保全能力)

この項目の MENA トップは UAE であるが、同国の世界順位は40位であり高いとは言えない。世界50位以内にあるのは UAE のみである。MENA 16か国のうち10カ国は世界100位以下であり、クウェイト(世界135位)、イエメン(同136位)は最下位レベルである。この項目では日本は50位以内であるが米国、中国は100位以下である。

(日本45位、米国115位、中国132位)

#### (10) Air transport infrastructure (航空路インフラ)

観光客を誘致する航空路が最も整備されている国として高い評価を受けたのは UAE で世界ランクは3位である。同国のドバイ空港は周辺国のみならず中央アジア、東アフリカあるいはアジアと欧米を結ぶハブ空港となっており、MENA では今や別格の存在である。二番目はトルコ(世界14位)、三番目はカタール(25位)でこれら3カ国に次ぐのがサウジアラビア(38位)、バハレーン(45位)である。本項目で世界100位以下の国はアルジェリア(100位)とイエメン(133位)であり、MENA の多くの国は世界の中位に位置している。MENA 平均順位は世界136カ国中の61位である。

(日本18位、米国2位、中国24位)

#### (11) Ground and Port infrastructure (陸上・港湾インフラ)

陸上および港湾インフラが整備されているのはバハレーン(世界13位)、UAE(同19位)、カタール(同23位)等であり GCC 各国が上位に並んでいる。その他中東の主要な国ではトルコが世界54位、サウジアラビア64位、イランは75位であり、エジプトは82位にとどまっている。

(日本10位、米国26位、中国44位)

#### (12) Tourist Service infrastructure (旅行者サービス度)

MENA で旅行者に対するサービス度が最も高いと評価されているのはイスラエルで同国の世界順位は26位である。これに続き世界50位以内に入っているのは UAE(世界27位)、カタール(同33位)、バハレーン(同35位)、トルコ(同42位)、サウジアラビア(47位)である。一方サービス度が低いとされているのはアルジェリア(世界131位)、イエメン(同127位)、イラン(同116位)である。中東の観光大国であるエジプトは世界93位である。

(日本29位、米国3位、中国92位)

#### (13) National resources (自然資産)

中東北アフリカは平坦な砂漠の乾燥した国が多く、自然の景観は変化に乏しい。このため平均世界順位は103位にとどまり14のサブ項目の中では最も低い。MENA では世界50位以内の国はモロッコ(世界47位)だけである。同国に続くのはトルコ(世界70位)、オマーン(同87位)であり、UAE、イスラエル、チュニジア、エジプト、サウジアラビアが90位台にひしめいている。イラン、アルジェリアを含め MENA 16か国中の7か国は世界100位以下である。

(日本26位、米国10位、中国5位)

#### (14) Cultural resources (文化資産)

この項目で MENA トップはトルコ(世界16位)であり、エジプト(同22位)、イラン(同38位)、モロッコ(同41位)、サウジアラビア(同49位)の各国が続いている。その他アルジェリア(同53位)、イスラエル(同57位)など古代から中世、あるいはイスラム教とユダヤ教と言った時代と宗教を背景にした文化資産を誇る国々が並んでいる。

(日本4位、米国13位、中国1位)

### **4. MENA 主要6カ国及びスイス、日本、米国の項目別比較(レーダーチャート)**

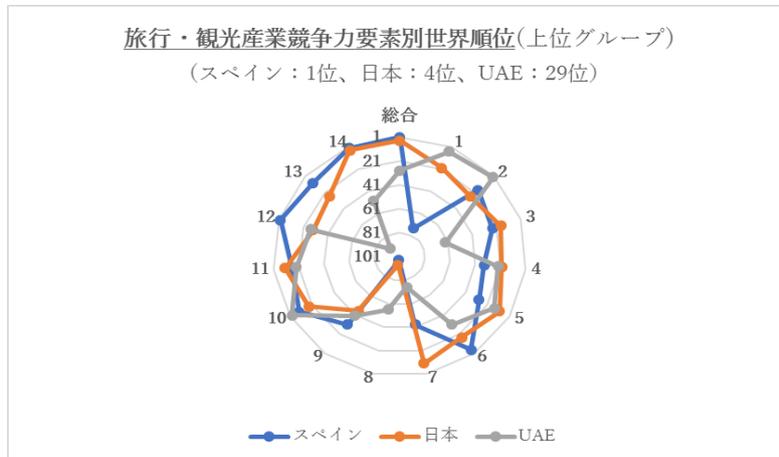
ここでは下記の3つのグループについて2017年の各国の項目別世界順位をレーダーチャートにより比較してみる。

- (1) 上位グループ: スペイン、日本、UAE
- (2) 中位グループ: トルコ、イスラエル、サウジアラビア
- (3) 下位グループ: エジプト、チュニジア、イラン

レーダーチャートは最も外側が世界順位1位であり内側の中心は世界151位である(実際の調査対象国数は136か国)。また最上段の1から14までの記号は第二項に述べた調査項目の(1)から

(14)を示している。各分野の世界順位を結ぶ輪が各国の状況である。レーダーチャートの輪が外側に広がっているほど世界での順位が高く、また輪の形が円に近いほど各分野の均衡がとれていることを示している。

### (1) 上位グループ: スペイン、日本、UAE



ここでは世界 1 位のスペインと同4位の日本、さらに MENA トップで世界29位の3か国を比較する。項目別では3か国とも5 情報インフラ、10 空路インフラ及び11 陸上・海上インフラの3項目の世界ランクが高く、インフラ施設が整っていることが解る。また4 人材・労働市場、6 旅行・観光業の優先度、9 環境持続性なども3か

国のランクは比較的高いレベルで揃っている。

1 事業環境については UAE(世界5位)と日本(同20位)が高いのに対してスペインは世界平均を下回る75位にとどまっている。一方 14 文化資産・ビジネス旅行についてはスペインが世界2位、日本は同4位に対し UAE は世界50位である。また 13 自然資産についてもスペイン世界9位、日本世界26位に対して UAE は極めて低い91位にとどまっている。しかし 8 価格競争力は日本とスペインが共に世界90位台に対して、UAE は56位である。UAE は砂漠に囲まれ歴史も新しいため文化・自然遺産に乏しいが、価格面では経済先進国のスペイン、日本に勝っていると言える。

各国別に見ると、スペインはインフラ、サービスが高く、自然・文化資産など見るべきものが多く、これらの分野で世界のトップレベルにある。また安全、衛生、情報インフラ等もかなり整備されているが、価格競争力と事業環境の両面では世界レベルに達していないようである。

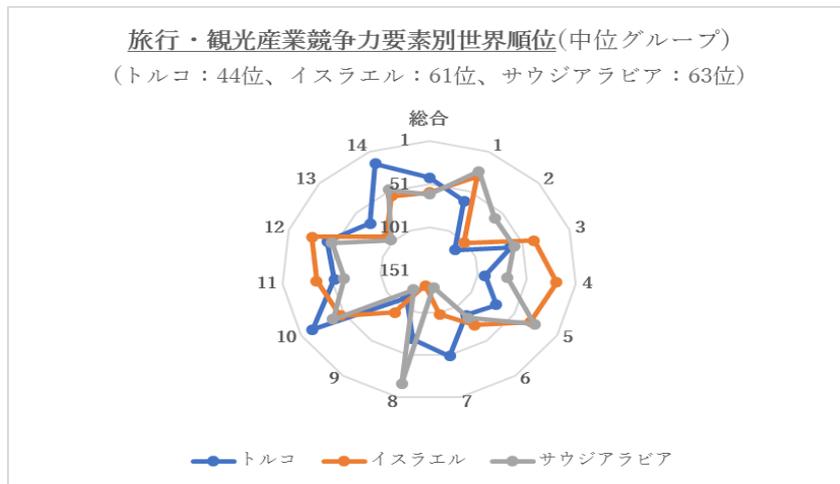
日本の場合は交通インフラ、文化資産・ビジネス旅行、市場開放度などが世界のトップレベルと評価され衛生、人材、情報、サービス等も世界20位前後と評価されている。しかし価格競争力だけが世界94位と極めて低い評価である。日本の旅行・観光産業の競争力は価格を除けば比較的均整が取れている。

UAE は 1.ビジネス環境、2.安全・治安、10.航空路インフラの3分野では世界のトップ・テンに評価されており、その他の分野も多くは世界20位~30位台である。UAE の世界順位が低い分野は 3 衛生(世界63位)、7.市場開放度(同75位)、13.自然資産(同91位)などである。

### (2) 中位グループ: トルコ、イスラエル、サウジアラビア

トルコ、イスラエル、サウジアラビアの世界ランクはそれぞれ44位、61位及び63位であり、世界

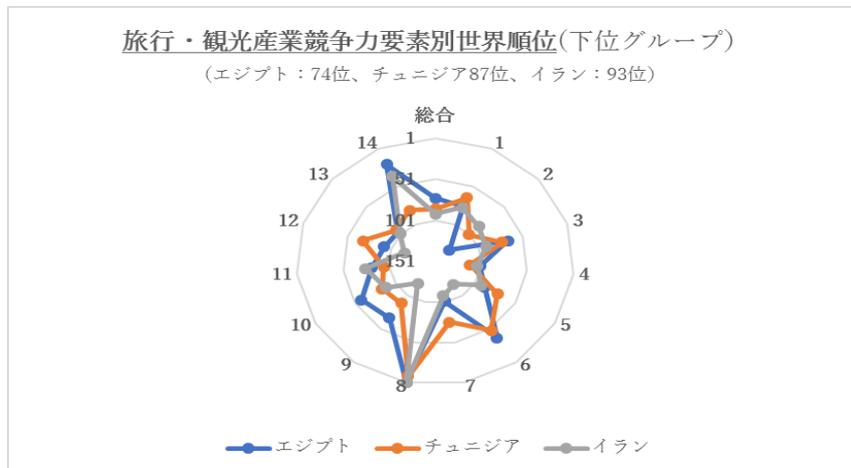
の中では中の上に位置する。この3か国は各分野の多くで順位が近接しているが、それぞれの国の特質を現すランクの差が大きいものもいくつか見られる。



6 旅行観光業の優先度は3か国とも70~80位であり大きな差はなく、13 自然資産も同様の傾向である。しかし 8 価格競争力は3か国間にかなり大きな開きがあり、サウジアラビアの世界17位に対してトルコは70位、イスラエルは133位である。空路インフラ、陸上・海上インフラ、旅行者サービスなど

は3か国ともおしなべて世界ランクは上位であり各国の旅行・観光機関の意欲がうかがえる。一方 9 環境持続度はイスラエルが世界91位、トルコ112位、サウジアラビア124位であり3か国とも評価が低い。

### (3) 下位グループ: エジプト、チュニジア、イラン



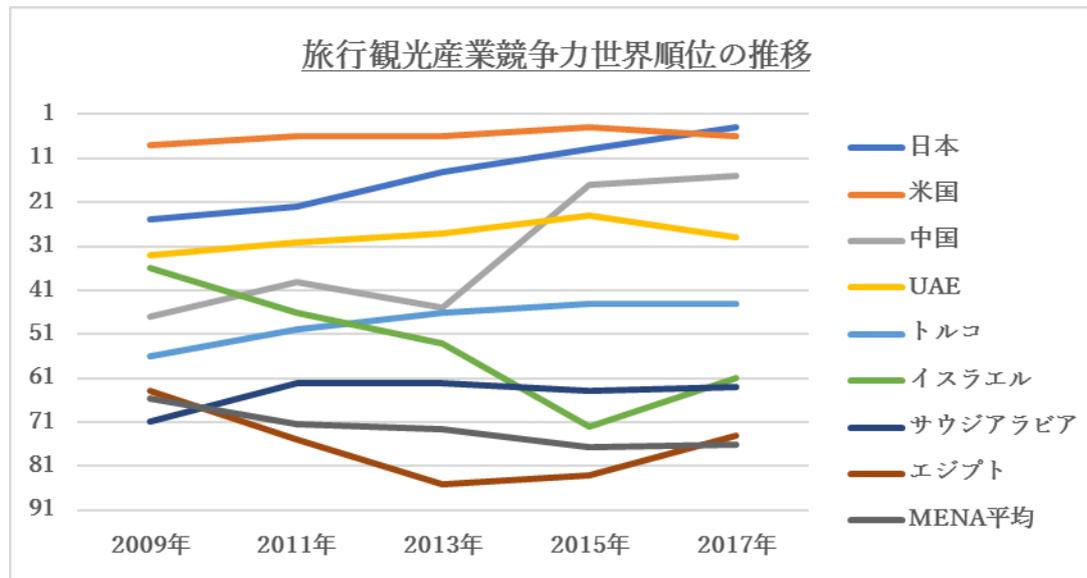
総合世界順位はエジプト74位、チュニジア87位、イラン93位といずれも世界の下位グループに属している。これら3か国は14項目のほとんどで世界の平均以下であり、イランなどは100位以下が6項目にも及ぶ。

このような中で3か国とも世界的な競争力を示しているのが 8 価格競争力の項目であり、イランは世界1位、エジプトが同2位、チュニジアも同9位といずれも世界のトップテンに入っているのが特徴である。そして 14 文化資産・ビジネス旅行の項目ではエジプトとイランが世界の上位クラスである。両国は共に紀元前にさかのぼる文明を有し、欧米諸国にはない遺産を保有している。しかし 4 人材・労働市場の面では3か国とも世界ランクは100位以下である。また 5 情報インフラ、10 空路インフラ 11 陸上・海上インフラなど各種インフラの整備が遅れており遺産を生かし切れていないようである。

## 5. 2009年~2017年(過去5回)の世界順位の比較

旅行・観光産業競争力カランクは2009年以降隔年で公表されている。ここでは MENA5か国 UAE、

トルコ、イスラエル、サウジアラビアおよびエジプトに加え MENA の平均順位と日本、米国、中国各国の過去5回の競争力順位の変遷を比較検討してみる。



今回 MENA トップであった UAE は2009年は世界33位であった。UAE はその後、30位(’11年)→28位(’13年)→24位(’15年)と毎年世界順位を上げた後、今回は29位に下がっている。しかし同国は MENA の中では突出して高い世界ランクを維持している。UAE とは対照的にイスラエルは2009年の世界36位から46位(’11年)→53位(’13年)→72位(’15年)と世界順位を急速に下げ、トルコあるいはサウジアラビアにも追い抜かれている。但し今回(2017年)は61位に上昇、再びサウジアラビアを上回った。

エジプトもイスラエルとほぼ同様の傾向を示し2009年の64位から2013年には85位に下落、その後若干持ち直して2017年は世界74位であるが、未だ5年前の水準には達していない。トルコは2009年の56位から毎年わずかずつランクアップしており2013年以降は世界50位以内を維持している。サウジアラビアの場合は2009年の71位から2011年には62位に上昇したが、その後は停滞し2017年は世界63位である。

米国、日本および中国各国の推移を見ると、米国は安定して世界のベストテンに入っており、2015年は過去5年で最高の世界4位となっている。日本は2009年の25位から毎年急速に順位を上げており、2015年にはベストテン入りを果たし、今回は過去最高の世界4位にランクされている。中国も躍進が著しく2009年には世界47位と世界50位以内に入り、2013年から2015年にかけて一挙に世界45位から世界17位に急伸した。今回も世界15位であり、旅行・観光産業の競争力は世界レベルに達している。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行

〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601

Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642

E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

**旅行・観光産業競争力指数(2017年度)**

国名	TTCI 指数	世界ランク	MENA ランク
アルジェリア	3.07	118	15
バハレーン	3.89	60	4
エジプト	3.64	74	9
イラン	3.43	93	12
イラク	-	-	-
イスラエル	3.84	61	5
ヨルダン	3.63	75	10
クウェイト	3.33	100	14
レバノン	3.37	96	13
リビア	-	-	-
モロッコ	3.81	65	7
オマーン	3.78	66	8
パレスチナ自治政府	-	-	-
カタール	4.08	47	3
サウジアラビア	3.82	63	6
シリア	-	-	-
チュニジア	3.50	87	11
トルコ	4.14	44	2
UAE	4.49	29	1
イエメン	2.44	136	16
(MENA 平均)	3.64	76	
対象国数		136	
(参考)日本	5.26	4	
スペイン	5.43	1	
米国	5.12	6	
中国	4.72	15	
イエメン	2.44	136	

(Source: <https://www.weforum.org/reports/the-travel-tourism-competitiveness-report-2017>)

16-T-03

## その16:旅行・観光産業競争力指数, 2017年項目別世界順位

国名	総合順位	1.Business Environment	2.Safety and Security	3.Health and Hygiene	4.Human Resources and Labour Market	5.ICT Readiness	6.Prioritization of Travel & Tourism	7.International Openess
アルジェリア	118	110	81	89	112	96	131	134
バハレーン	60	12	47	76	61	16	88	84
エジプト	74	78	130	68	102	89	37	102
イラン	93	79	87	93	105	94	117	109
イラク	-	-	-	-	-	-	-	-
イスラエル	61	32	103	39	21	32	73	99
ヨルダン	75	41	38	61	74	44	22	63
クウェイト	100	59	43	66	92	31	125	123
レバノン	96	95	125	47	120	76	33	100
リビア	-	-	-	-	-	-	-	-
モロッコ	65	49	20	99	117	77	35	91
オマーン	66	28	4	65	103	46	81	116
パレスチナ自治政府	-	-	-	-	-	-	-	-
カタール	47	6	10	46	26	23	76	121
サウジアラビア	63	26	61	60	71	27	83	131
シリア	-	-	-	-	-	-	-	-
チュニジア	87	66	102	75	113	73	48	76
トルコ	44	63	116	64	94	72	87	50
UAE	29	5	2	63	23	15	31	75
イエメン	136	128	135	110	132	130	135	136
(MENA 平均順位)	76	55	69	70	85	59	75	101
スペイン	1	75	18	24	34	29	5	43
米国	6	16	84	56	13	19	20	38
日本	4	20	26	17	20	10	18	10
中国	15	92	95	67	25	64	50	72

(続き)

国名	8.Price Competitive ness	9.Environmental Sustainability	10.Air Transport Infrastructure	11.Ground and Port Infrastructure	12.Tourist Service Infrastructure	13.Natural resources	14.Cultural resources and Business Travel
アルジェリア	4	106	100	105	131	124	53
バハレーン	21	100	45	13	35	135	112
エジプト	2	67	59	82	93	97	22
イラン	1	119	89	75	116	100	38
イラク	-	-	-	-	-	-	-
イスラエル	133	91	47	36	26	93	57
ヨルダン	81	82	69	79	66	117	118
クウェイト	40	135	74	57	79	131	125
レバノン	27	110	81	86	64	128	97
リビア	-	-	-	-	-	-	-
モロッコ	47	107	63	60	80	47	41
オマーン	24	109	57	47	67	87	58
パレスチナ自治政府	-	-	-	-	-	-	-
カタール	12	65	25	23	33		80
サウジアラビア	17	124	38	64	47	99	49
シリア	-	-	-	-	-	-	-
チュニジア	9	89	85	95	69	94	83
トルコ	70	112	14	54	42	70	16
UAE	56	40	3	19	27	91	50
イエメン	7	136	133	129	127	132	111
(MENA 平均順位)	34	100	61	64	69	103	69
スペイン	98	31	9	15	2	9	2
米国	106	115	2	26	3	10	13
日本	94	45	18	10	29	26	4
中国	38	132	24	44	92	5	1